

## 介護保険制度の改善を国に求める陳情書

### 要旨

下記項目の国への意見書を決議していただくこと。

- 1 介護保険の利用に新たな困難をもたらす利用料の引き上げ、要介護1、2の生活援助などの保険はずし、ケアプランの有料化などの見直しを行わないこと
- 2 すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと
- 3 利用者が安心して介護を受けることができ、介護事業所・従事者が不安なく介護を提供できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を強化すること
- 4 介護保険料、利用料、食費・居住費などの負担軽減、介護報酬の改善など、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政における国庫負担の割合を大幅に引き上げること。

### 理由

23年目を迎えた介護保険制度の実態は、必要なサービスが利用できない人も多く、家族介護を理由とした介護離職も高止まりです。介護事業所では、深刻な人手不足と、低い介護報酬のもとでの経営難が続いており、コロナ禍はこうした事態をいっそう加速させています。

政府は、2023年4月からの実施は見送りましたが、引き続き、利用料2割負担の対象者拡大、要介護1・2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入などが検討されています。これは、利用者と事業者双方にさらなる矛盾、困難を押しつけるものであり、認めることはできません。

2022年2月から新たな介護従事者の処遇改善が開始されています。しかし全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準であり、ケアマネジャー・訪問看護師・福祉用具相談員などが対象から外される一方で、利用者負担も生じ、現場に混乱と分断が起っています。また、政府はテクノロジー機器の導入と引き替えに、職員の配置基準を大幅に引き下げようとしています。人手不足を解消し、行き届いた介護を実現するためには、介護報酬を引き上げ、処遇を改善し、介護従事者を大幅に増やすこと、一人夜勤をなくし複数にすること、人員配置基準の引き上げこそ必要です。

また、コロナ感染対策として、検査・ワクチン体制の整備、在宅・施設での陽性者・クラスター対応への支援、事業所に対する公費による減収補填などが求められます。利用者、介護事業所・従事者が直面している困難の早急な打開と、介護保険制度の立て直しが急務です。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換が必要です。

## 介護保険制度の改善を国に求める意見書 案

2000年に始まった介護保険制度は、現在、必要なサービスを十分に利用できない状況です。また、政府がゼロをめざすとした介護離職も高止まりです。介護事業所では、深刻な人手不足と、低い介護報酬のもとでの経営難が続いており、コロナ禍はこうした事態をいっそう加速させています。

政府は、利用料2割・3割負担の対象者拡大、要介護1、2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入など介護保険制度の見直しを検討しています。この見直しは、利用者と事業者双方にさらなる矛盾、困難を押しつけるものであり、認めることはできません。

介護従事者の処遇改善が始まっていますが、全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準であり、ケアマネジャー、訪問看護師、福祉用具相談員などは対象から外されています。人手不足を解消し、行き届いた介護を実現するためには、介護報酬の引き上げとともに、安心して介護が受けられるように利用料の引き下げも必要です。

コロナ感染対策強化として、検査・ワクチン体制の整備、在宅・施設での陽性者・クラスター対応への支援、事業所に対する公費による減収補填などが求められます。利用者、介護事業所・従事者が直面している困難の早急な打開と、介護保険制度の立て直しが急務です。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を求めます。

### 記

- 1 介護保険の利用に新たな困難をもたらす利用料の引き上げ、要介護1、2の生活援助などの保険はらずし、ケアプランの有料化などの見直しを行わないこと
- 2 すべての介護従事者の給与を全産業平均水準まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと
- 3 利用者が安心して介護を受けることができ、介護事業所・従事者が不安なく介護を提供できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を強化すること
- 4 介護保険料、利用料、食費・居住費などの負担軽減、介護報酬の改善など、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政における国庫負担の割合を大幅に引き上げること。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出します。

2023年 月 日

議会

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣